



暑さを吹き飛ばした「市Pバレー」

昨日3日(日)に熊本市PTAバレーボール大会が砂取小学校体育館で行われました。当日は、暑さ指数も「**厳重警戒レベル**」で、特に体育館はムシムシする暑さも相まって、そこにいるだけで汗が噴き出てきました。しかし、市Pバレーの



選手たちは、その暑さを吹き飛ばすかのように、声を出し合い、笑顔で参加していました。チーム帯西もナイスプレーの連続で、諦めずに最後までボールを追いかけ、逆転しての勝利という熱戦もあり、感動しました。選手たちは、市Pバレーまでに、夏休み期間中も練習に励み、PTAの活性化に繋がりました。また、子育てとは違う、「スポーツ」による繋がりによって、新たなコミュニティも生まれたようです。参加された選手の皆さん、そしてそれを支えていただいた保体委員の皆さん、そして応援してくれた子供たちに感謝します。

カブトムシの角の秘密

朝から交通指導に立っていると、虫かごを大切に抱えながら登校して来た子供がいます。「それには何が入っているの?」と尋ねると、笑顔で「カブトムシです!」と答えてくれました。この夏の昆虫の代表で子供たちから絶大な人気を誇るカブトムシですが、その魅力は何と言ってもその立派な角にあります。実は、20



17年に、日本の研究者の手でその秘密が明らかになりました。実はカブトムシの角は、さなぎになる前から準備されていたのです。カブトムシの幼虫の頭には、「角原基」と呼ばれる組織があって、それは小さく折り畳まれた袋状の形をしているそうです。さなぎになると、袋の中に体液が流れ込んで膨らみ、角になることを突き止めました。さらにさなぎの中期になると、角の先端の4か所がピンで留めたように固定された状態になり、その後体液が減っていき、ピン留めされた部分だけが残ってとがり、表面の細胞から「クチクラ」という成分が分泌されて硬くなるそうです。

日本海にUFO!?

アメリカの国防総省は、未確認飛行物体(UFO)や「空での謎の現象」の目撃情報映像などを公開するウェブサイトを設定しました。過去にこのような現象が多かった地域も公開し、アメリカ東海岸、中東のペルシャ湾、日本海周辺で目撃が多かったそうです。私も子供の頃は、UFO番組が大好きで、欠かさず見ていました。しかし、このサイトによれば、「(宇宙人など)地球外の技術の存在を示す証拠はない」と説明しています。これからも注目していきたいと思います。